

CASSIOPEIA—UHC達成に向けて、対象の5つの病院における、5つ星に輝く質の高い医療ケアサービスを目指して

JICA ルサカ郡総合病院運営管理能力強化プロジェクト



阿部俊子衆議院議員と法月正太郎チーフアドバイザーが、チャワマ1次レベル病院の女性外科病棟の視察中に出産後の母親と記念撮影(母親の許可をいただいて撮影)。

ザンビア医療セクター視察
日本の国会議員がチャワマ
1次レベル病院を訪問

マテロ1次レベル病院を
日本の大学生が訪問

品質保証(QA)/品質改善
(QI)ミーティングが
マテロ1次病院で開催



5名の国会議員、ザンビア保健セクターの視察のため チャワマ1次レベル病院を訪問



左からチャンダ病院長、源馬謙太郎、三上えり議員、鷲尾英一郎、阿部俊子、金子俊平代議士、ルサカ州保健局ムワペ医師。

2023年8月22日、日本の国会議員で構成される代表団が、ザンビアの保健セクターへの日本政府の開発支援を視察するために、チャワマ1次レベル病院を訪れました。到着後、代表団は日本の無償資金協力で建てられた病棟を見学する前に、病院の古い建物の前で簡単な病院紹介が行われました。ルサカ州保健局(LPHO)代表として、ムワペ医師は代表団を歓迎し、日本政府、JICAとカシオペアプロジェクトの医療施設への支援に感謝の意を表しました。日本のインフラ支援と、リーダーシップ・ガバナンスの能力開発を通じた細やかな支援が強調されました。

視察の際、チャワマ1次レベル病院のチャンダ病院長がプレゼンテーションを行い、ザンビアとチャワマ病院の概要を簡単に説明しました。ザンビアはアフリカの南中部に位置し、2022年の国勢調査によれば人口が2000万人未満です。チャワマ病院は首都ルサカに位置し、約43万人の地域住民をカバーしています。この病院が患者を上位の病院に紹介する前に、他の13の保健センターへのハブとしての役割も果たしていることも説明されました。この病院のミッションは、ザンビアの市民にできるだけ近い場所で、費用対効果の高い良質な医療サービスへの平等なアクセスを提供することであり、ビジョンは、効率的で効果的な病院によって提供される、健康で生産的な地域社会の実現を目指しています。

代表団が、病院が日本の支援を受けて病院がアップグレードされた際の変化を理解できるよう、まず病院の古い建物を紹介されました。その際チャンダ病院長は、代表団が訪れている場所が以前はチャワマ病院の外来診療部門だったことを説明し、JICAの支援による病院の能力向上とインフラ整備により、病院のサービス、特に患者へ

の対応が向上したことが強調されました。

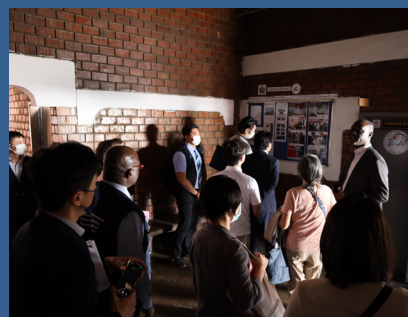
その後、代表団は病院内を見学し、JICAカシオペアプロジェクトのオフィス前の掲示板を訪れました。そこにはプロジェクトの簡単な背景とプロジェクト概要が掲示され、病院で行われたプロジェクト活動の一部の写真も掲示されています。チャンダ病院長は、インフラだけでなく、JICAが病院のスタッフに対して病院運営と保健医療に関する能力向上を支援していることを説明しました。彼は、病院の看護師、事務長、そして自身が病院運営についての最先端の経験を得るためにトレーニングの一環として日本の病院を訪れた機会があることを述べました。

次に外来診療部門と新しい建物内の治療室も見学しました。患者に対応していた医療スタッフに会い、代表団は病院が医師と看護師の不足に悩んでいるか質問をしました。チャンダ病院長は、病院が医師、看護師、助産師の深刻な不足に直面しており、スタッフには非常に多くの負荷がかかっていると答えました。代表団は医療スタッフに感謝の意を表し、彼らの仕事への献身を称賛しました。

代表団は、病院の2階からチャワマ・コンパウンド(チャワマ密集居住地区)を見学しました。ここから多くの患者が医療を求めて病院を訪れています。病院は、周辺のコンパウンドに医療を提供する重要な役割を果たしています。その後、彼らは理学療法のために日本政府とJICAが提供した機器が設置されている理学療法病棟を訪問しました。最後に、女性外科病棟を見学しました。チャワマ病院はルサカで分娩が3番目に多い病院として知られています。視察後、代表団は集合写真を撮り、この訪問は病院の発展に向けた有益な一歩であったことを強調しました。



阿部代議士をチャワマ病院に迎えるチャンダ病院長、チコンカ看護師、法月チーフアドバイザー。



チャワマ病院のプロジェクトオフィス視察の様子。



視察団に病院から見たチャワマ・コンパウンドを説明するチャンダ病院長。



チャンダ病院長が視察団にチャワマ病院女性外科病棟を案内している様子。

マテロ1次レベル病院を日本の大学生が訪問



マテロ病院の病院長とスタッフ、カシオペア・プロジェクトチームと集合写真を撮る学生たちの様子。

2023年8月9日、日本の慶應義塾大学からの3人の講師と4人の学生が、マテロ1次レベル病院を訪れ、病院の運営とシステムの運用を理解するために視察を行いました。訪問中、マテロ病院のリユマ病院長が学生たちを歓迎し、病院の背景と統計情報等を簡単に説明しました。

学生たちには、マテロ病院は医療従事者が少なく患者数が多い施設であると伝えられました。病院の多くの課題を受け、JICAカシオペアプロジェクトからたくさんの支援を受けていることを説明し、改善の一部としてバランスド・スコアカードの導入が病院の戦略を明確にし、運営会議、感染予防委員会の会議、および医療機器委員会の運用が改善され、強化されたことを説明しました。

質疑応答で、学生たちは出産時の帝王切開の主要な原因に関連する質問をしました。リユマ病院長は、残念ながら定期的な妊婦健診に来ない母親が多く、出産時になって初めて異常が検知されることから、赤ちゃんの発達や死亡の全体に影響を与えていると答えました。通常のスクリーニング検査を適切に行うべきであることを指摘しました。



女性外科病棟について学生に説明するマテロ病院の看護師。



歯科外来の様子を学ぶ熱心な日本人大学生たち。

品質保証(QA)/品質改善(QI)ミーティングがマテロ1次レベル病院で開催



2023年8月15日、マテロ1次レベル病院は品質保証(QA)/品質改善(QI)ミーティングを行い、日本で実施された病院運営研修で得た教訓についてのプレゼンテーションが会議で共有されました。



編集・デザイン: エレン ムティナ チピリピリ
編集: 緒方 敬
編集長: 法月 正太郎

連絡先
法月正太郎 ルサカ郡病院運営管理能力強化プロジェクト チーフアドバイザー

住所: Plot No.11743A, Brenwood Lane,
Longacres. P.o. Box 30027, Lusaka,
10101, ZAMBIA

日本の代表団にカニャマ1次レベル病院を案内するムベウエ病院長。